

役員会 議事概要

日 時：令和5年5月11日(金) 10:00～12:00

場 所：本部 研修棟 3階会議室

出席者：山本理事長、屋敷理事、田中理事、楠理事、佐藤理事、関根特任補佐、村上理事（北海道東北地区）、吉田理事（関東地区）※、住田理事（東海北陸地区）、西田理事（近畿四国地区）、島田理事（九州地区）、石尾監事、牧監事、木村総務部長、中村企画経営部長、井原医療部長、工藤内部統制・監査部長、田中情報システム統括部長、菅井担当部長、川寄担当部長

※はオンラインでの参加

※徳岡特任補佐、道上運営支援部長 欠席

1. 審議事項

(1) 令和4年度年度末賞与の支給基準等について

(説明概要)

屋敷理事から令和4年度年度末賞与の支給基準等について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 現支給基準と新基準の違いとは何か。
- ・ 今後の厳しい経営状況の備え資金は確保しておくべきではないか。
→ 新基準では、年度末賞与の支給金額の上限を引き上げる一方、今後厳しい経営状況が予想されることを踏まえ、滞留短期借入金額を支給額から控除するという対応を想定。新基準により減額となる場合には旧基準を適用する経過措置を講じた上で、支給総額は旧基準と比較して10億円弱の増加を見込んでいる。
- ・ すでに過ぎてしまった期間（令和4年度）についての基準を、後出しで変更することは避けるべき。
- ・ 新基準を採用することにより、過去からの滞留短期借入金を生じている病院について、現在の職員の賞与額を厳しくすることになる。職員のモチベーションにも配慮する必要がある。
- ・ これまでの支給基準の背景や将来的な見通し等を明らかにした上で議論すべき。
- ・ 年度末賞与を含む賞与の在り方についての検討と併せ、議題（案）については決定を留保する。

(2) 令和5年度における医薬品の調達方針について

(説明概要)

屋敷理事から令和5年度における医薬品の調達方針について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 議題（案）について了承

(3) 勤務時間管理の考え方について

(説明概要)

屋敷理事から勤務時間管理の考え方について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 議題(案)について了承

2. 本部からの報告

(1) 次期中期目標・中期計画・R5年度計画策定スケジュールについて

(説明概要)

中村企画経営部長から次期中期目標・中期計画・R5年度計画策定スケジュールについて説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 特段の意見なし

(2) 令和5年度経営パワートレーニングについて

(説明概要)

中村企画経営部長から令和5年度経営パワートレーニングについて説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 研修対象者を事務職だけではなく他職種にするのであれば、目的を明確化してほしい。
→他部門を有する病院組織において経営改善を実現するために、事務職だけでなく、各部門においても経営に関する視点を有する職員を育成し、相互理解に基づき組織一体となって取り組む体制構築を目指すもの。

(3) 令和5年3月月次決算報告について

(説明概要)

中村企画経営部長から令和5年3月月次決算報告について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 特段の意見なし

(4) JCHOにおける新型コロナウイルス感染症対応(令和2年2月～令和5年4月15日)

(説明概要)

資料配布のみ

(5) 病院賠償責任保険の共同入札について

(説明概要)

井原医療部長から病院賠償責任保険の共同入札について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 個人を対象とした保険、とりわけ医師賠償責任保険は、すでに加入している者が多い。
→病院へ事前アンケートを行い、参加意向を調査した上でオプションとしてつけられるようにするもの。
- ・ オプション保険に入った場合、JCHO 病院外で勤務した場合も補償対象となるか、また、オプション保険を加入した職種の全員が補償対象となるか、の確認をしてほしい。
→2点の確認をし、整理した上で病院へアンケートをとりたい。

(6) 医療安全にかかる重大なアクシデント報告 (令和5年3月分)

(説明概要)

井原医療部長から医療安全にかかる重大なアクシデント報告 (令和5年3月分) 説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 特段の意見なし

(7) アスベスト除去費用の計上について

(説明概要)

屋敷理事からアスベスト除去費用の計上について説明。

(主な意見、質疑)

- ・ 特段の意見なし

(8) 第04-11回 施設等投資検討会議資料及び議事要旨

(説明概要)

資料配布のみ

3. その他

(1) 本部の主な動き (令和5年5、6月)

(説明概要)

資料配布のみ

4. 各地区からの報告及び意見交換

(主な意見、質疑)

- ・ 経営パワートレーニングを行い、経営改善に向け組織一体として取り組んでいきたい。